

ねりまの小中一貫教育の取組

～ 中村中学校・中村小学校・中村西小学校 ～

< 研究構想図 >

小中一貫教育研究グループ(中村中・中村小・中村西小)

26年度 研究構想図

学習指導要領

・「生きる力」を育む ・知識や技能の習得 ・思考力・判断力・表現力などの育成

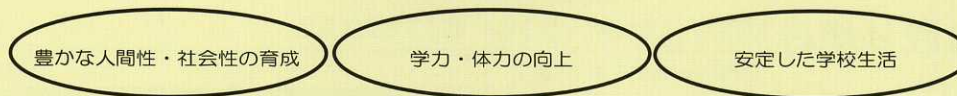
↓

練馬区教育委員会の目標(略)と基本方針

1 人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成 2 豊かな個性と創造力の伸長
3 家庭教育の支援と子供たちの健全育成の推進 4 子供に対する一貫した成長支援
5 自然環境の保全と文化遺産の保存・活用・継承

↓

「ねりまの小中一貫教育」



各校の教育目標

児童・生徒の〇実態●課題

○明るく素直で落ち着いた生活態度
○課題に前向きに取り組む姿勢
●主体的な取組、自己表現の活動
●生活習慣の確立

教師の願い

・安定した生活習慣の確立
・習熟度に対応した学習指導
・中1ギャップの解消

中村小学校

○よく考える子ども
○さいごまでやり抜く子ども
○明るく元気な子ども
○なかよく助け合う子ども

中村西小学校

○よく考える子ども
○からだのじょうぶな子ども
○思いやりのある子ども

地域の実態

・学校の教育活動に興味をもち、協力的な保護者が多い。
・町内会等の活動で児童生徒への積極的にかかわる。

中村中学校

○自律性を伸ばす ○実践力を身に付ける ○連帯感を深める

研究主題

**心身共に健やかな児童・生徒を育てる小中連携活動
～人・学校・地域とのかかわりを通して～**

研究分科会

道徳分科会
【豊かな人間性の育成】

・道徳授業の参観による相互理解と指導法の改善
・道徳教育にかかわる情報交換と資料の作成

体育・保健体育分科会
【体力の向上】

・体育、保健体育の授業の参観による相互理解と指導法の改善
・体力向上の取組にかかわる情報交換と資料の作成

生活指導分科会
【安定した学校生活】

・授業の参観による相互理解と指導法の改善
・生活指導や学習規律にかかわる情報交換と資料の作成
・町内会等の地域組織との連携協力

26年度の研究活動及び連携活動

教員交流研修	連携クリエイター打合せ	研究グループ連絡会等	保護者・地域との連携
校区別協議会 ①6/12(木) 会場：中村小 ②10/18(火) 会場：中村中 ③1/30(金) 会場：中村西小 ※道徳研究発表	研究グループ連絡会①終了後 6/12(木) 校区別協議会①終了後 6/23(月) 研究グループ連絡会②終了後 7/14(月) 連携クリエイター研修①終了後 7/22(火) 連携クリエイター研修②終了後 10/18(火) 校区別協議会②終了後 11/10(月) 研究グループ連絡会③終了後	4/21(月) 研究グループ連絡会① 6/23(月) 研究グループ連絡会② 7/14(月) 連携クリエイター研修① 7/22(火) 連携クリエイター研修② 11/10(月) 研究グループ連絡会③ 1/23(金) ねりま小中一貫教育 F	道徳地区公開講座 セーフティ教室 その他 中村中 中村中 ・地域行事 7/7(月) 6/19(木) ・学校公開 中村小 中村小 ・運動会 6/14(土) 9/8(月) ・学芸会 中村西小 中村西小 ・展覧会 11/8(土) 9/13(土) ・学習発表会
交流部活動 11/21(金)	児童生徒交流 中学校出前授業 2/9(月) 中村小 2/9(月) 中西小	その他 ・職場体験 ・作品交流	

1 主題及び主題設定の理由

「心身共に健やかな児童・生徒を育てる小中連携活動」 ～人・学校・地域とのかかわりを通して～

思春期を迎える小学校高学年から中学校にかけては、心身の成長や変化が大きな時期であり、同時に精神的に不安定な時期でもあると言われている。小学校から中学校へのスムーズな接続を行っていくためには、小・中学校が連携をとった教育を進めることが重要になる。

同じ練馬区中村地域に育つ児童・生徒を預かる小・中学校の教師が情報を共有し合い、一貫した目標を掲げ、一貫した授業カリキュラムのもとに児童・生徒を育てていこうとすることで、「生きる力」の柱となる「豊かな人間性・社会性の育成」「学力・体力の向上」「安定した学校生活」を一層育むことができると考える。そこで、9年間を見通した指導の連続性を意図して研究主題「心身共に健やかな児童・生徒を育てる小中連携活動」を設定した。

2 特色ある取組

○児童生徒の取り組み

1. 小中交流部活動

児童生徒の取組として、小中交流部活動は、10年以上の実績があります。

6年生は、中学生の指導を受けることで、中学校を身近に感じ、先輩たちに対するあこがれや、部活動への期待が膨らみます。中学生にとっても、自分の特技を生かして後輩を指導することは、よい経験となっています。



2. 中学生職場体験

総合的な学習の時間に、中学1年生が、小学校を職場として選び、教師や主事の仕事を間近に見て触れることで、働くことの意義を考え、職業に対する関心を高めるなど、自分の将来について具体的に考える機会となります。



3. 卒業記念バドミントン大会

町会主催で、40年続けて、バドミントン大会が行われています。バドミントン部員の協力と町会の尽力により、会が運営されています。



○教職員の連携等の取り組み

1. 小中合同研修会

3校の教員が研究を推進するにあたって、練馬区の小中一環教育の基本的な考え方と、その実際について理解を深めるために、夏季休業中に合同研修会を実施しました。講師をお招きし、「小中連携教育の考え方と実際」という演題でご講演いただきました。練馬区における小中一貫教育の動きやその背景、小中一貫校の大泉桜学園での取組などについて具体的にお話いただき、小中一貫教育に関して、3校の教職員間の共通理解を図ることができました。



2. 校区別協議会

年3回、各校全学級で授業公開をし、道徳・体育・生活指導分科会に分かれて、協議会をもっています。教職員同士が交流し、地域の子供たちと一緒に育てていく意識を高め、指導に生かしています。



2. 出前授業

中学校教員による「出前授業」を継続して実施しています。児童にとっては、中学校の学習や教科担任制に対する不安を解消し、中学校生活への期待につながるよい機会となり、中学校の教員にとっても、小学生の実態を知るよい機会となります。



3 道徳分科会の取組

(1) 課題改善カリキュラム作成上の基本的な考え方

豊かな人間性と社会性をはぐくむためには、小・中学校で一貫して大切にしていけることを決め、共通理解のもと授業に取り組む必要がある。そのため、より焦点化を図り、具体的な目標をもってカリキュラムを作成することにした。

(2) カリキュラム改善の視点

道徳分科会では、道徳の「ねらい」は教員の「願い」であると考え、3校の児童・生徒の課題点を整理した上、アンケートを実施・集計し、重点内容を「2-(2) 思いやり」に決定した。新たに道徳の指導内容配当表を作成した。また、道徳学習指導案に「小中一貫の視点」を位置付け、授業実践に取り組んだ。

道徳 指導内容の学年別配当一覧(小中学校9年間の配当表)

練馬区立中村小学校・中村西小学校・中村中学校

3校重点内容	2-(2) 思いやり・親切
--------	---------------

※アンケートを行った結果、3校教員の共通した願いは、「思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする」ことができる児童・生徒の育成であることが分かった。よって、3校の重点内容を「思いやり・親切」とし、小・中学校9年間で育んでいく。

※小学校の配当表は、上段が「中村西小学校」、下段が「中村小学校」。

柱	低学年指導内容	1年	2年	中学年指導内容	3年	4年	高学年指導内容	5年	6年	中学校指導内容	1年	2年	3年	
1 自分自身に関する	(1)節度節制 自立	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(1)節度節制 自立	☆☆ ☆☆☆	☆☆ ☆☆☆	(1)節度節制 思慮反省	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(1)基本的な生活習慣 調和のある生活	☆	☆	☆	
	(2)勤勉努力	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)勤勉努力 不撓不屈	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)不撓不屈 希望勇氣	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)希望・勇氣 強い意志	☆☆	☆	☆	
	(3)善悪の判断	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(3)善悪の判断 勇氣	☆☆☆ ☆	☆☆☆ ☆	(3)自由 責任 自律	☆☆ ☆	☆ ☆	(3)自主自律 誠実 責任	☆☆	☆☆	☆	
	(4)正直誠実 明朗	☆☆	☆☆☆	(4)正直誠実 明朗	☆☆	☆☆	(4)正直誠実 明朗	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(4)真理愛 理想の実現	☆☆	☆☆	☆☆
		☆☆	☆☆		☆☆	☆☆	(5)個性伸長	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆		☆☆ ☆☆	(5)向上心 個性の伸長	☆☆
2 他の人とのかかわり	(1)礼儀	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(1)礼儀	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(1)礼儀	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(1)礼儀	☆☆	☆☆	☆☆	
	(2)思いやり 親切	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(2)思いやり 親切	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(2)思いやり 親切	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(2)人間愛・思いやり	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆	
	(3)信頼友情	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(3)信頼 友情	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(3)信頼友情 男女の協力	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(3)信頼 友情	☆☆	☆☆	☆☆
		☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆		☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(4)寛容 謙虚	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(4)異性の理解	☆☆	☆☆	☆☆
(4)感謝	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(4)尊敬 感謝	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(5)尊敬 感謝	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(6)尊敬 感謝	☆☆	☆☆	☆☆	
3 自然や崇高	(1)生命尊重	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(1)生命尊重	☆☆ ☆☆☆	☆☆ ☆☆☆	(1)生命尊重	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(1)生命尊重	☆☆	☆☆	☆☆	
	(2)自然愛 動植物愛護	☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆	(2)自然愛 動植物愛護	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)自然愛 動植物愛護	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)自然愛 畏敬の念	☆☆	☆☆	☆☆	
	(3)敬虔 畏敬の念	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(3)敬虔 畏敬の念	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(3)敬虔 畏敬の念	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(3)弱さの克服 生きる喜び	☆☆	☆☆☆	☆☆☆	
4 集団や社会とのかかわり	(1)公德心	☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(1)公德心	☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆☆	(1)公德心 規則尊重	☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆	(1)法の遵守 権利義務	☆☆	☆☆	☆☆	
		☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆☆		☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆	(2)公平公正 正義	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)公德心 社会連帯	☆☆	☆☆	☆☆
		☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆☆		☆☆☆ ☆☆☆	☆☆☆ ☆☆	☆☆☆ ☆☆	(3)役割の自覚 責任	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(3)正義 公正公平	☆☆	☆☆	☆☆
	(2)勤労	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(2)勤労 社会奉仕	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(4)勤労 社会奉仕	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(5)勤労 奉仕 公共の福祉	☆☆	☆☆	☆☆	
	(3)家族愛	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(3)家族愛	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(5)家族愛	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(6)家族愛	☆☆☆	☆☆☆	☆☆	
	(4)愛校心	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(4)愛校心	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(6)愛校心	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(7)愛校心	☆☆	☆☆	☆☆	
	(5)郷土愛	☆☆	☆☆	(5)郷土愛	☆☆	☆☆	(7)郷土愛 愛国心	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(8)郷土愛	☆☆	☆☆	☆☆
		☆☆	☆☆		☆☆	☆☆	(6)愛国心	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(9)愛国心	☆☆	☆☆	☆☆
								(8)国際理解 親善	☆☆ ☆☆	☆☆ ☆☆	(10)国際理解 人類愛	☆☆	☆☆	☆☆
	合計	16項目	34	35	18項目	35	35	22項目	35	35	24項目	35	35	35

4 体育・保健体育分科会の取組

(1) 課題改善カリキュラム作成上の基本的な考え方

校区別協議会で実施された体育・保健体育の授業と、協議会で出された内容から、体育・保健体育授業における学習規律の共有化や、小中間の領域や内容についての系統性の確認、小学校と中学校での指導方法の違いの理解などが話し合われた。さらに新体力テストの結果も加味し、具体的な課題改善カリキュラムの作成に取り組んだ。

(2) カリキュラム改善の視点

小中9年間の体育で系統立てて取り組める領域は「体づくり運動」であること、また25年度の新体力テストの結果から跳躍力・投力・柔軟性を高める指導が必要であることから、「体づくり運動」に重点を置いて指導を継続することとした。また、持久力においては平均を大きく上回る結果であり、各校での取り組みの成果であるので、今後も体力向上を目指した活動を系統的に継続して行っていく。

体育 「体づくり運動」の内容の抜粋と3校の取り組みの系統性

練馬区立中村小学校・中村西小学校・中村中学校

発達段階	各種の運動の基礎を養う時期		多くの領域の学習を経験の時期		卒業後に少なくとも一つの運動やスポーツを継続することができるようにする時期
	小1.2年	小3.4年	小5.6年	中1.2年	
領域	「体づくり運動」				
内容ア	「体ほぐしの運動」				
	手軽な運動や律動的な運動を通して			以下のために手軽な運動や律動的な運動を行う	
(行い方の例)	心と体の変化に気付く 体の調子を整える みんなでかかわる	心と体の関係に気付く 体の調子を整える みんなでかかわる	心と体の関係に気付く 体の調子を整える 仲間と交流する	心と体の関係に気付く 体の調子を整える 仲間と交流する	心と体は影響し合い変化することに気付く 体の調子を整える 仲間と積極的に交流する
	のびのびとした動作で用具などを用いた運動 (ボール、風船、新聞紙などを捕ったり投げたり乗ったりふんだりする) リズムに乗って心が弾むような運動 (太鼓や曲に乗って動く、あんたがたどこさ) リラックスしながら、ペアでストレッチング (ペアストレッチ、背中をバッチング、力を抜いてリラクゼーション) 条件を変えて、歩いたり走ったりする運動 (じゃんけん電車、タッチ&エスケープ、スキップ、ギャロップ、ジグザグ走) 伝承遊びや集団による運動 (なべなべ度抜け、だるまんがころんだ、おしくまんじゅう、人間知恵の輪)	のびのびとした動作で用具などを用いた運動 (長なわ跳び、布でキャッチボール) リズムに乗って心が弾むような運動 (ジェンカ、長なわでリンボーダンス、バンブーダンス) ペアでストレッチングや脱力の運動 (腹式呼吸、ミラーストレッチ、リラクゼーション) 条件を変えて、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動 (うずまき移動、シグナルランニング) 仲間と動きを合わせる運動 (グループステッピング、ヒューマンチェア)			
内容イ (行い方の例)	「多様な動きを作る運動遊び」	「多様な動きを作る運動」	「体力を高める運動」		
	体のバランスをとる (だるまころがり・ゆりかご) 移動する (動物歩き・はいはい・おしり歩き) ※1(無理のない速さで2~3分) 用具の操作 (かんぼくくり・ブラフープ) ※2(短なわ 長なわ) 力試し (押しずもう・引き合い遊び)	体のバランスをとる (バランス崩し・人工衛星) 移動する (ジグザク走・肋木上り下りなど) ※1(無理のない速さで3~4分) 用具の操作 (Gボール・一輪車) ※2(短なわ 長なわ) 力試し (押しずもう・手押し車) 基本の運動を組み合わせる	体の柔らかさ (ストレッチング) 巧みな動き (ドリブル平均台などの組み合わせサーキット) ※2(短なわ 長なわ) 力強い動き (登り棒、人運び、手押し車) 動きを持続させる能力 ※1(無理のない速さで5~6分) ※2(短なわ長なわで全身運動) 動きを高めるための運動	体の柔らかさ (腹式呼吸、ストレッチング) 巧みな動き (ボディエクササイズ) ※2(短なわ 長なわ) 力強い動き (プッシュ&キャッチ、バービー、馬跳びくぐり) 動きを持続させる能力 (サーキットトレーニング) ※1(一定時間の持久走) ※2(一定の時間回数 のなわとび) 組み合わせて運動の計画をする	健康の保持増進 (健康に生活するための体力を高める運動の計画と実践) 調和のとれた体力の向上 (運動を行うための体力を高める運動の計画と実践)

	中村小	中村西小	中村中
※1 持久走	マラソン期間/ 業間や授業で校庭(約200m)3周/1回 マラソンカードの活用	マラソン期間/授業 授業で6分間走 マラソンカードの活用	マラソン大会に向けて 授業で12分間走 マラソン大会(光が丘公園) マラソンカード(3年間の記録を残す)の活用
※2 短なわ	なわとびカードの活用 体育朝会 なわとびの技紹介	なわとびカードの活用	
※2 長なわ	運動委員会取り組み 「5人でボン」(5人同時のなわとび回数を競う)		運動会種目クラス対抗大なわとび (全員同時のなわとびの回数を競う)
その他1	運動会準備運動 「ウルトラソウル」	運動会準備運動 「中西体操」	ナカチュウ 体育授業時「中中体操」
その他2 (水泳指導)	水泳検定カードの活用 連合水泳記録会	水泳検定カードの活用 連合水泳記録会	遠泳

5 生活指導分科会の取組①

(1) 生活指導資料作成上の基本的な考え方

小学校、中学校それぞれの授業を見合い、授業後の協議会で、小中それぞれの視点から、学習規律について意見交換を行った。小中連携における生活指導上の問題解決に資する資料になるものが作成できないかと検討中した結果、生活指導資料の作成に至った。

(2) 生活指導資料作成上の視点

校区別協議会で実施された授業及び協議会で出された意見から、小学校、中学校の両校で連携、一貫して指導することで効果を上げることを期待する資料を「あいさつ」「地域との連携」「学習規律」の視点で作成した。

3校の教職員の共通理解もと、「あいさつ」「地域との連携」「学習規律」に関して小学校での指導後に児童を中学校へ進学させれば、中学校での継続指導が功を奏し、生徒は中学校での生活にも抵抗なく参加できるだろうと期待される。

(3) あいさつの指導

中村中グループ 小中一貫指導計画 生活指導「あいさつの指導」に関わる指導計画

目指す児童生徒像 自ら進んであいさつする児童生徒

あいさつの指導に関わる願い		あいさつの指導に関わる共通理解											
<ul style="list-style-type: none"> ・低学年 気持ちのよいあいさつをする。 ・中学年 礼儀の大切さを知り、気持ちのよいあいさつをする。 ・高学年 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもってあいさつをする。 ・中学校 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切なあいさつをする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを「オアシス」とし、各校の指導計画に沿って適宜指導をする。 ・教職員から積極的に声をかけ、あいさつを返せる子、自ら進んであいさつする子を育てる。 ・保護者及び第三地区委員会、東町会、西町会の協力を得る。 											
発達段階に沿ったあいさつ指導例 ・学級担任以外の教職員へのあいさつ ・来校者へのあいさつ 地域の方々へのあいさつ ・時と場に応じた会釈 ・入室時、退出時のあいさつ ・「報・連・相」時のあいさつ													
		1学期						2学期					
月		4月	5月	6月	7月	9月	10月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年間のあいさつ目標		元気に あいさつ オアシス											
あ 基 本 的 な 生 活 習 慣 指 導	共通			ふれあい月間 アンケート実施						ふれあい月間 アンケート実施			
	中村小	笑顔で あいさつ 中村の子	がんばろう あいさつ おうえん 運動会	心にいつも オアシス			オアシス 気持ちを 伝える 合言葉	代表委員会 あいさつ運動			寒くても 笑顔で あいさつ 中村の子	ありがとう お世話 になった 6年生	
	中西小	元気に あいさつしよう	あいさつ 大作戦(4月)				すすんで あいさつしよう	あいさつ 大作戦(10月)			きもちのよい あいさつしよう	あいさつ 大作戦(1月)	
	中村中	生活指導重点目標「進んであいさつしている子」 校内標語「あかるく いつでも さきに つづける」						前期生徒会役員・生活委員会による朝の挨拶運動 毎月1週間程度					
あ い さ つ 指 導 に か か わ る	中村小	始業式 入学式	運動会 離任式	道徳授業地区公開 夏休み	移動教室6年	移動教室5年 終業式	始業式	開校記念日 展覧会	冬休み	書き初め展 ユニセフ募金	お別れスポーツ大会 6年生を送る会	修了式 卒業式	
	中西小	始業式 入学式	運動会 離任式	社会科見学・各学年適宜 体育(水泳)	移動教室6年	移動教室5年 終業式	音楽会	開校記念日 生活科校外学習	冬休み	書き初め展 ユニセフ募金	お別れ給食会 6年生を送るスポーツ大会	修了式 卒業式	
	中村中	始業式 入学式 ふれあい週間	運動会 離任式	学校公開週間 夏休み 生徒総会 道徳授業地区公開 上級学校説明会2・3年 臨海学校1年 セーフティー教室 体育(水泳)	移動教室6年	移動教室5年 終業式	校外学習2年 遠足1年 学習発表会	始業式 ふれあい週間 地域清掃1年 ボランティア体験2年	冬休み	書き初め展 ユニセフ募金 研究発表会	お別れ給食会 6年生を送るスポーツ大会	修了式 卒業式	卒業式 スキー教室 合唱コンクール 修了式

5 生活指導分科会の取組②

(4) 学習規律の指導

中村中グループ 小中一貫指導計画 学習規律の習得に関わる指導計画

目指す児童生徒像 学習規律を身に付け自ら進んで学習に取り組む児童生徒

学習規律に関わる願い		学習規律に関わる共通理解	
・低学年 進んで学校生活のきまりや約束を守る。 ・中学年 進んで学校生活のきまりや約束を守り、公德心をもつ。 ・高学年 公德心をもって、進んで学校生活や身近なきまりや法を守る。 ・中学校 秩序と規律を高めることに努め、公德心をもって進んで学校生活や身近なきまりや法を守る。		・児童生徒が自ら学習に集中できる学習環境を築けるように支援する。 ・児童生徒が自ら健康的・衛生的な生活環境を築けるように支援する。 ・中学進学を意識した学級経営、小小連携の資料として活用する。	
	低学年	中学年	高学年
筆箱	・えんぴつ(HB、B、2B 5～6本) ・赤青えんぴつ1本 ・名前ペン(油性) ・消しゴム ・短い定規 ※ シャープペンシル、カラーペン、蛍光ペン、修正テープ(ペン)などは指示したとき以外は持って来ない。		中学校 特に規定なし ※不要な物は持ってこない。
授業準備	授業したら、次の時間の授業準備を机上に並べる。		
教室移動	クラス2列で、決められたコースの右側を、間隔をあけずに、静かに歩いて移動する。		始業の時刻に遅れないように、静かに歩いて移動する。
チャイム	チャイムが鳴ったら(始業時刻になったら)席に着き、机上の学習準備を確認し、静かに始業を待つ。		チャイムが鳴ったら席に着き、机上の学習準備を確認し、静かに始業を待つ。
始業のあいさつ	日直の号令であいさつをする		学級委員の号令であいさつをする
姿勢	両足を床に着き、肘をつかずに、よい姿勢で座る。		
挙手	黙ってまっすぐに手を挙げる。		
発表	指名を受けた後、「はい」と返事をし、起立をする。体の向きを、教室の中心に向ける。	指名を受けた後、「はい」と返事をする。必要に応じて起立をし、体の向きを、教室の中心に向ける。	
聞き方	話者の方へからだを向けて、相槌を打ちながら聞く。		話者の方へからだを向けて、自分の考えとの相違点を見つながら聞く。
記名	プリントを受け取ったら、すぐに、ていねいに記名をする。(学年・組・出席番号・氏名)		
プリントの提出	記名してあることを確認し、向きをそろえて提出、回収する。 ※ 場合によっては出席番号順(混合・男女別)		
終業のあいさつ	日直の号令であいさつをする		学級委員の号令であいさつをする
服装等	・学習に支障のないように身なりを整える。(服装・髪型) ・安全、衛生に関わるアクセサリ類は身に付けない ・学習に必要なものは持ち込まない。 ・許可なく授業以外の教室に入らない。		

(5) 地域との連携

中村中グループ 小中一貫指導計画 地域との連携に関わる指導計画

目指す児童生徒像 自ら進んで人・学校・地域に積極的にかかわる児童生徒

中村地域とのつながりに関わる願い		中村地域とのつながりに関わる共通理解											
・低学年 中村地域の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。 ・中学年 中村地域の伝統と文化を大切に、郷土を愛する心をもつ。 ・高学年 中村地域の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、郷土を愛する心をもつ。 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。 ・中学校 中村地域の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。		・中村地域に関わる行事への参加を積極的に呼び掛ける。 ・教職員も可能な範囲で参加し、児童生徒の暮らし地域への理解を深める。 ・保護者及び第三地区委員会、東町会、西町会の協力を得る。											
発達段階に沿った地域とのつながり指導例 ・地域行事への参加 ・地域行事の手伝い ・ジュニアリーダー養成講座への参加 ・地域行事の運営ボランティア参加													
	1学期			2学期									
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
年間のあいさつ目標	元気に あいさつ オアシスサ												
町内会等の主催する地域行事	第三地区委員会	みんなで体験してみよう ※時期企画	ジュニアリーダー養成	七夕かざり				みんなで遊ぼう		カルタ取り大会			
	中村東町会					八幡神社祭礼		ふれあいフェスタ 敬老会		卒業記念バドミントン大会			
	中村西町会			キャンプファイヤー				敬老会	西町会運動会	カルタ取り大会			
	その他			中村公園盆踊り	サンツ商店会阿波踊り			松の実祭り		ふるさと中村音楽祭		職場体験	
町内会等にご理解ご協力いただく学校行事	共通	登校指導 校外学習 社会科見学 外部講師活用授業 学校公開 道徳授業地区公開講座											
	中村小	入学式 遠足・各学年適宜	運動会 離任式	道徳授業地区公開 社会科見学・各学年適宜	夏休み 体育(水泳)			開校記念日 展覧会 クリーン運動 サーフティ教室	冬休み 書き初め展			卒業式	
	中西小	入学式 遠足・各学年適宜	運動会 離任式	社会科見学・各学年適宜	夏休み 体育(水泳)	サーフティ教室		音楽会	開校記念日 生活科校外学習 クリーン運動 道徳授業地区公開	冬休み 展覧会	書き初め展 研究発表会		
	中村中	入学式 ふれあい週間	運動会 離任式	学校公開週間 道徳授業地区公開	夏休み 体育(水泳)			校外学習2年 遠足1年 学習発表会	ふれあい週間 地域清掃1年	ボランティア体験2年		職場体験1年	卒業式 合唱コンクール

成果と課題

- 小学生は、出前授業や交流部活動を体験することで中学校への不安を軽減し、期待が膨らんだ。
- 中学生は、交流部活動で教える立場になることで、自己有用観を得ることができた。
- 今後は、生徒の学力調査や意識調査、体力テストの結果など、数値化できるデータを集め、課題改善カリキュラムを検証、改善していく方策を考えていく必要がある。